

**2024年度春季 第107回
低温工学・超電導学会研究発表会**

学会活動に関するアンケート結果

アンケート実施の背景

- ✓ 会員数の定常的な減少や出版関係経費の増加等により学会財政は非常に厳しく、現在の活動や会員サービスの継続に支障をきたすことが予想されます。
- ✓ 本学会への加入動機、学会への期待、学会活動の満足度、要望等を調査し、会費の見直しや学会活動活性化（学会誌、研究発表会等）へ反映するためにアンケートを実施しました。

回答数を増加させるため、アンケート期間を再設定（再開）しました。

アンケート未回答の方は右のQRコードより是非回答をお願いします。



アンケート結果のまとめ

- ✓ 目的 学会への加入動機、学会への期待、学会活動の満足度、要望等を調査し、会費の見直しおよび学会活動活性化（学会誌、研究発表会等）へ反映する。
- ✓ 実施期間 2024年2月13日～3月28日
- ✓ 有効回答数 会員：269名（正会員、シニア、学生の合計）、非会員：9名
（会員回答は会員数906名の29.7%に相当、正会員609名に対しては36%）

- ✓ アンケート結果について
 - ✓ アンケート回答は、学会活動に積極的な会員によるウェイトが高いと想定される。

 - ✓ 普段、研究発表会等に参加されていない（活動の少ない）会員のニーズ掘り起こしが課題である。
⇒アンケート期間の再設定（再開）

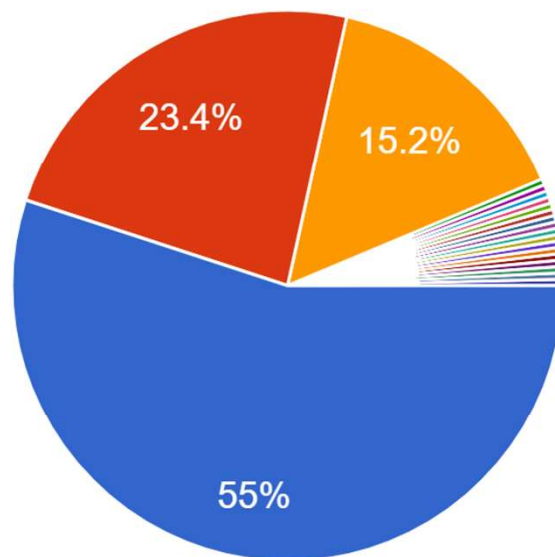
 - ✓ 会員回答率 5割を目標にアンケート期間の再設定を決定。

 - ✓ アンケート結果についてはホームページおよび学会誌への掲載を予定。

アンケート結果（会費の見直し）

- ✓ 会費見直しについて2千円程度が55%、4千円程度が23%。
- ✓ 見直し反対の意見では、支出削減努力を求める意見が多くあった。
支出削減の取り組み周知が十分ではなく、学会財政の現状と見直しについて一層の周知を進める必要がある。

19. 低温工学・超電導学会の財政安定化を目的に会費の見直しが検討されていますが、会員を継続するうえで、どの程度の見直しを許容できるかお聞かせください。



- 正会員費2,000円程度の増加（正会員...）
- 正会員費4,000円程度の増加（正会員...）
- 会費の見直しには反対（設問19-2へ）
- 電子化・学会のオンライン化でコスト...
- 支出を削減してから、値上げを検討す...
- 学会参加費の増加とコスト削減の結果...
- 学生会員が個人で負担していることへ...
- 正会員費4000円程度の増加は賛成、...

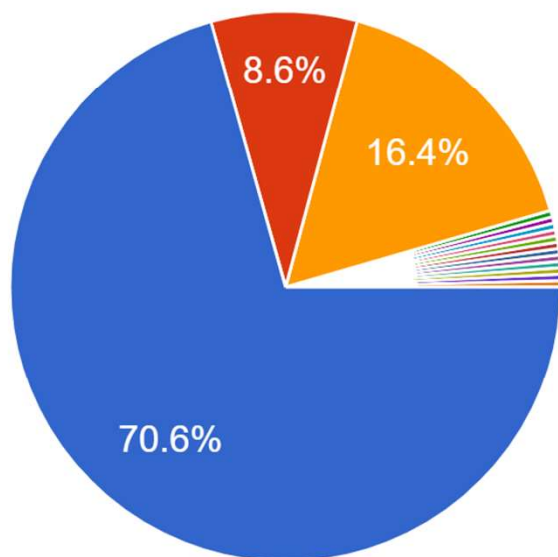
▲ 1/3 ▼

アンケート結果（会員の継続）

- ✓ 退職後も継続は約16%のため、退職者増加による会員数減少を運営計画に加味する必要がある。

16. 加入継続の見通しについてお聞かせください。

269 件の回答



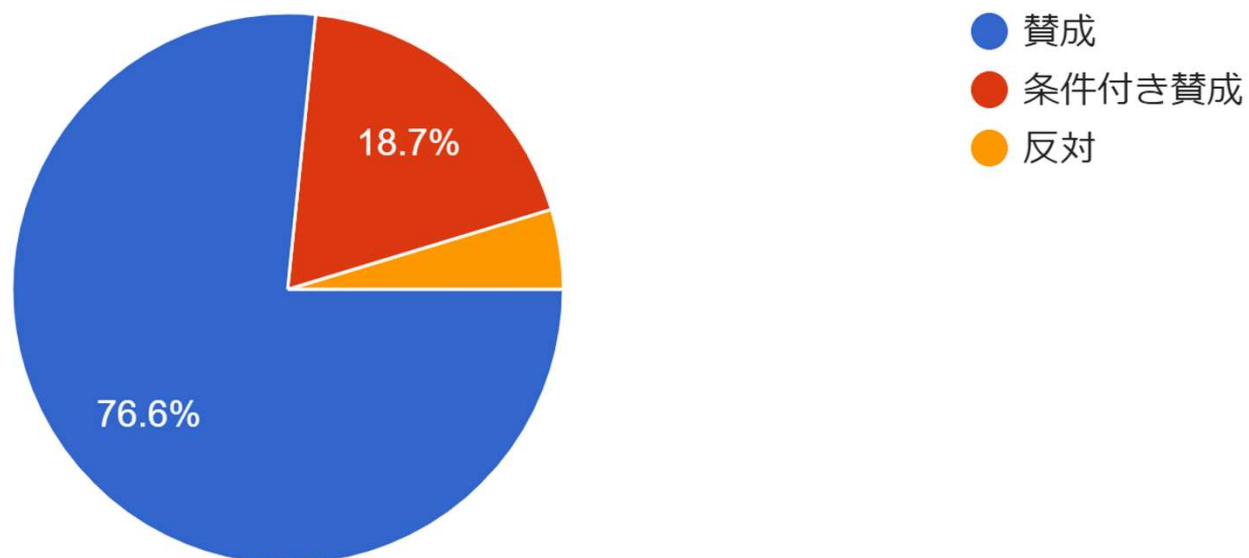
- 現職のうち
- 業務に関係なく継続
- 退職後も継続
- 学会が魅力的である努力を継続するな...
- 明確ではありません。
- 興味がある間は継続する。
- 研究内容が関係する限り加入を継続す...
- 本分野の業務も減少傾向のため、適切...

▲ 1/2 ▼

アンケート結果（学会誌の電子化）

- ✓ 電子書籍化への賛成が約77%、条件付き賛成が約19%であった。
- ✓ 一方で冊子が届くことが学会加入の拠り所となっている状況もあるため、一定の冊子配布も検討が必要。
- ✓ 検索機能など利便性への期待が高いが、機能整備にもコストがかかるため、機能とコストの明確化が必要。

6. 学会誌電子書籍化への賛否についてお聞かせください。電子書籍化とは、ネット上で電子書籍として低温工学を発行する事を想定しています。読者はファイルのダウンロード、印刷なども必要に応じて可能となる仕様を検討中です。

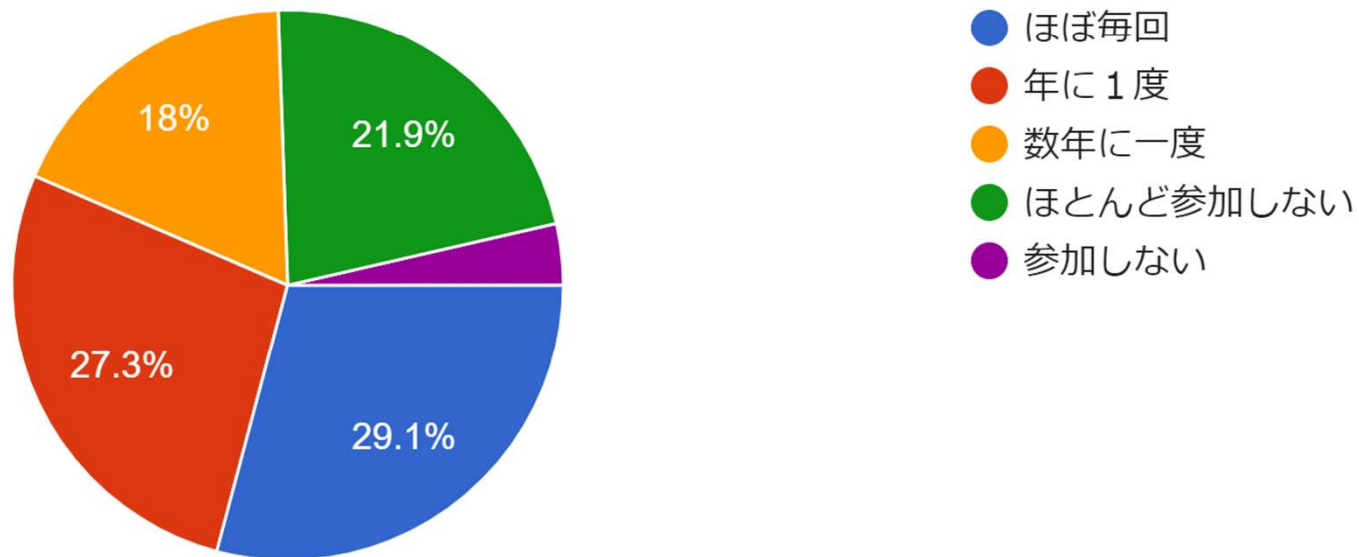


アンケート結果（研究発表会への参加）

✓ 年1～2回参加が回答者の約56.4%。アンケート回答者は研究発表会への参加頻度が高いと思われる。

7. 研究発表会への参加頻度についてお聞かせください

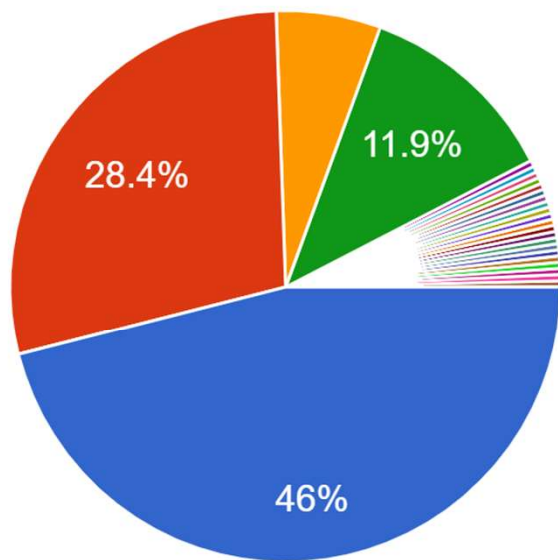
278件の回答



アンケート結果（研究発表会の参加費）

- ✓ 2千円程度の増加が46%で最多であった。
- ✓ 反対意見では、参加者減少懸念やコスト削減努力を求める意見が多くあった。

11. 昨今の印刷費・会場費の高騰、学会財政運営の状況をうけ、研究発表会の参加費の見直しが検討されています。研究発表会の参加を継続するうえで、どの程度の見直しを許容できるかお聞かせください。



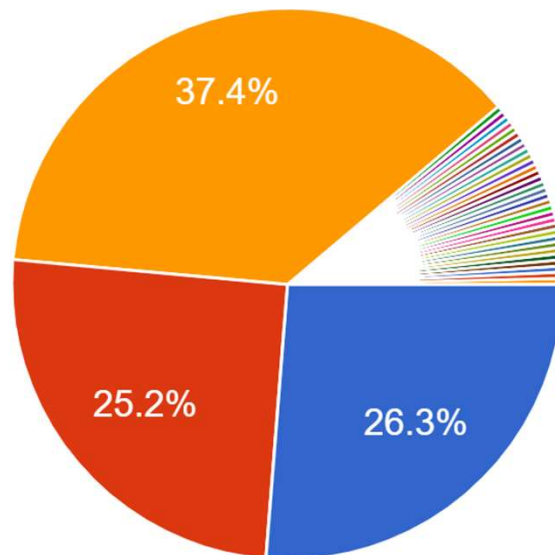
- 2,000円程度の増加（年間約600千円...）
- 5,000円程度の増加（年間約1,500千円...）
- 10,000円程度の増加（年間約3,000千...）
- 値上げには反対
- 電子書籍化をした場合のコストの増減...
- 学生参加費を引き上げないという条件...
- 支出を削減してから、その後に値上げ...
- 個人から支出されるのではなく、その...

▲ 1/4 ▼

アンケート結果（オンラインサービス）

- ✓ オンラインサービスについては、運用コストの負担方法について検討が必要。普段、研究発表会に参加されていない会員のニーズへも配慮が必要。

12. 研究発表会は、ハイブリッド開催を開始して3年が経過しました。ハイブリッド開催ではオンラインサービスの運用にコストがかかるため、継続には参加費の見直しも検討する必要があります。このサービスの継続についてご意見をお聞かせください。



- 参加費（対面、オンライン参加同額） ...
- 対面参加費に付加した料金にてオンラ...
- オンラインサービスを継続する必要は...
- オンラインサービスのコスト増加の詳...
- オンライン参加との併催を基本として...
- オンライン参加費は安くすべきである
- 同等の金額でオンライン継続を希望
- アンケートを取る前に、コスト分析を...

▲ 1/5 ▼

アンケート結果を踏まえた方向性

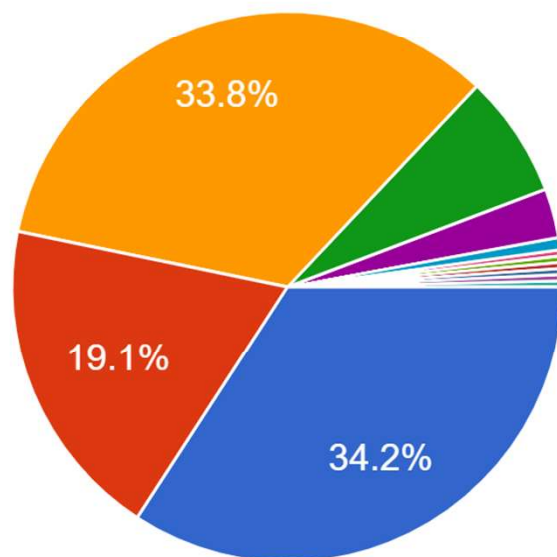
- ✓ 支出削減の取り組み、および定年後の退会者増加を明確化（説明）したうえで会費見直しの議論を進める。
⇒財政見通しやアンケート結果を踏まえた紹介記事を学会誌に今後掲載。
- ✓ 学会誌については電子書籍化の検討を進めるが、冊子配布へのニーズや配布効果へも配慮する。
検索機能の利便性などの期待も大きいですが、利便性を高めるにはコストがかかる。
- ✓ 研究発表会の参加費についても、財政健全化への対応として理解が得られるよう対応策を検討する。
オンラインサービス継続の継続については否定的意見が多いが、現地参加できない方々への効果を考慮する必要あり。

以降は全ての集計結果グラフと設問です

アンケート結果

1. 所属機関の分類をお聞かせください。

278 件の回答



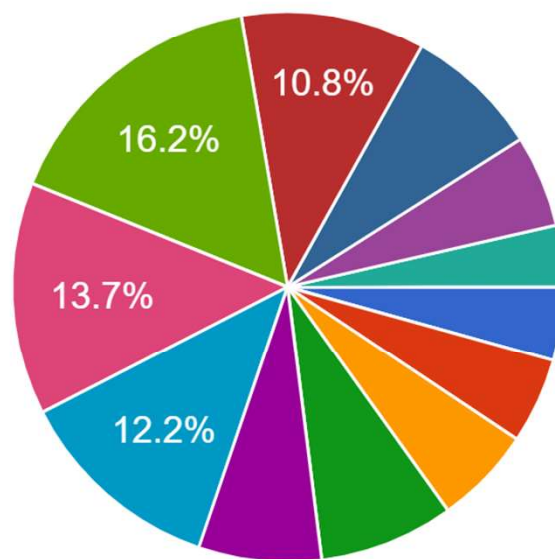
- 大学等教育機関
- 研究機関
- 企業
- 賛助会員企業
- 無所属
- 国立研究開発法人
- 低温工学・超電導学会
- 名誉教授ですが、無職です。

▲ 1/2 ▼

アンケート結果

2. 年齢についてお聞かせください。

278 件の回答



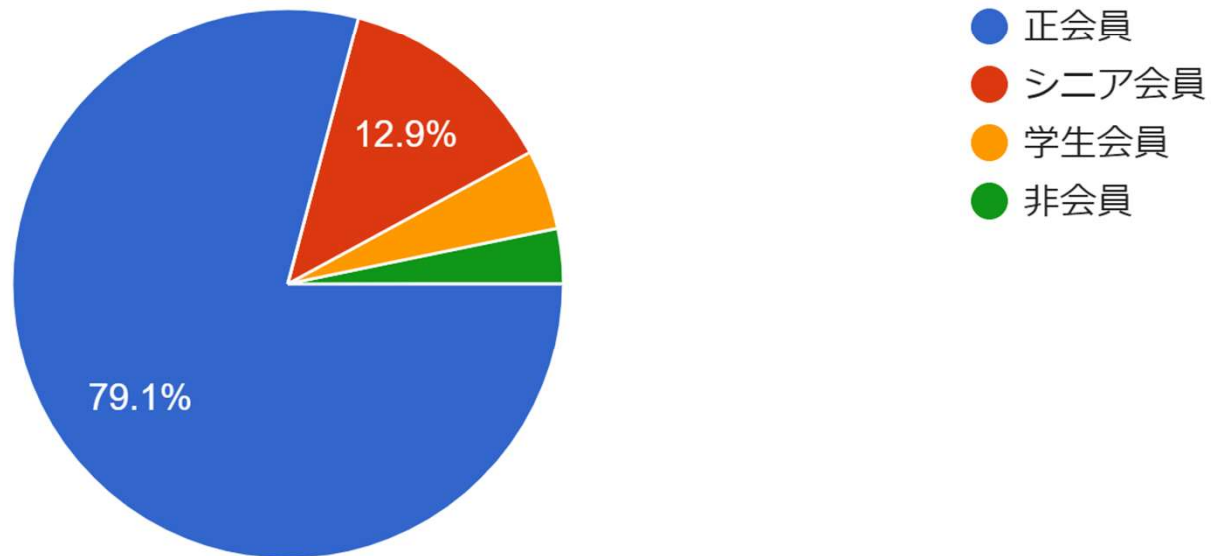
- 21~25歳
- 26~30歳
- 31~35歳
- 36~40歳
- 41~45歳
- 46~50歳
- 51~55歳
- 56~60歳

▲ 1/2 ▼

アンケート結果

3. 会員種別についてお聞かせください。

278 件の回答

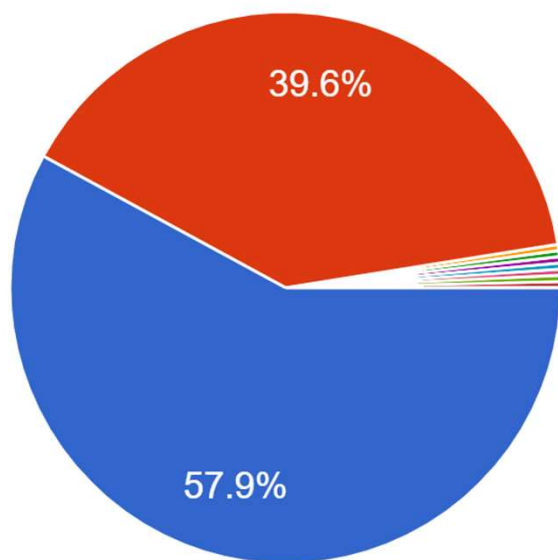


アンケート結果

4.

学会誌「低温工学」は、論文誌としての役割と、会...ての主たる位置付けについてお聞かせください。

278 件の回答

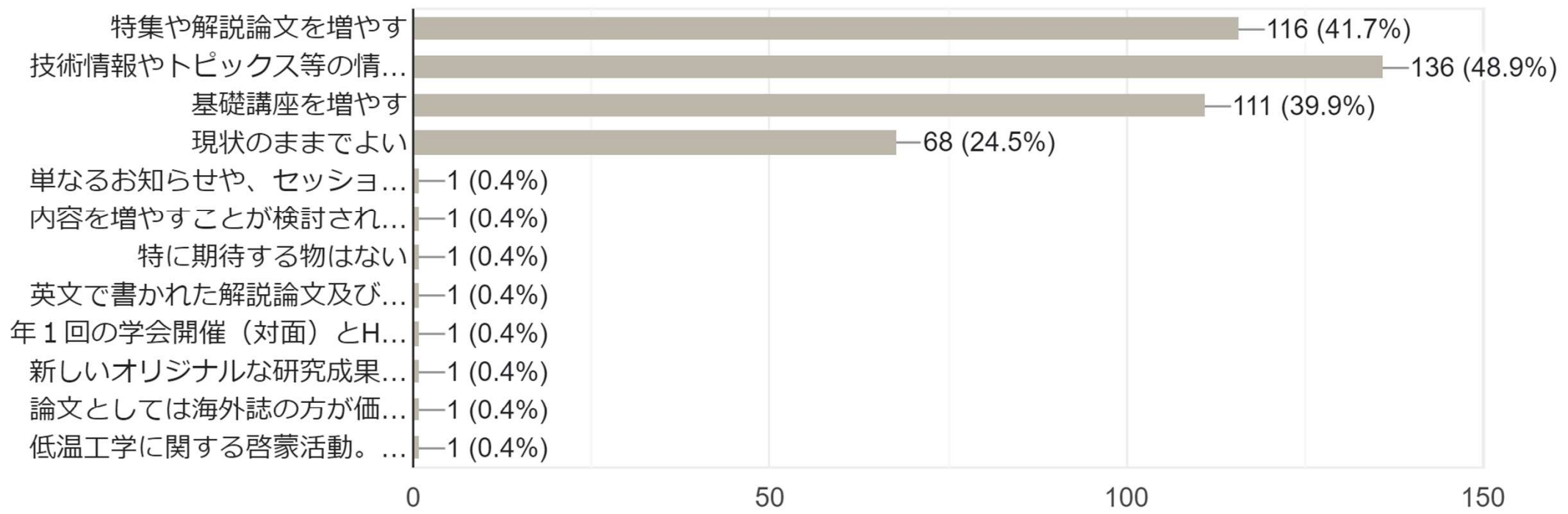


- 論文誌 (解説論文を含む)
- 情報誌
- 会員数減少対応 (現在は技術職ではないので)
- 論文発表、展示会参加
- 研究の参考
- 製本である必要はないと思います。論...
- 情報誌であり論文誌
- とくになし
- 論文誌と情報誌の両面

アンケート結果

5. 学会誌の編成で期待する記事はどれでしょうか。（複数選択可）

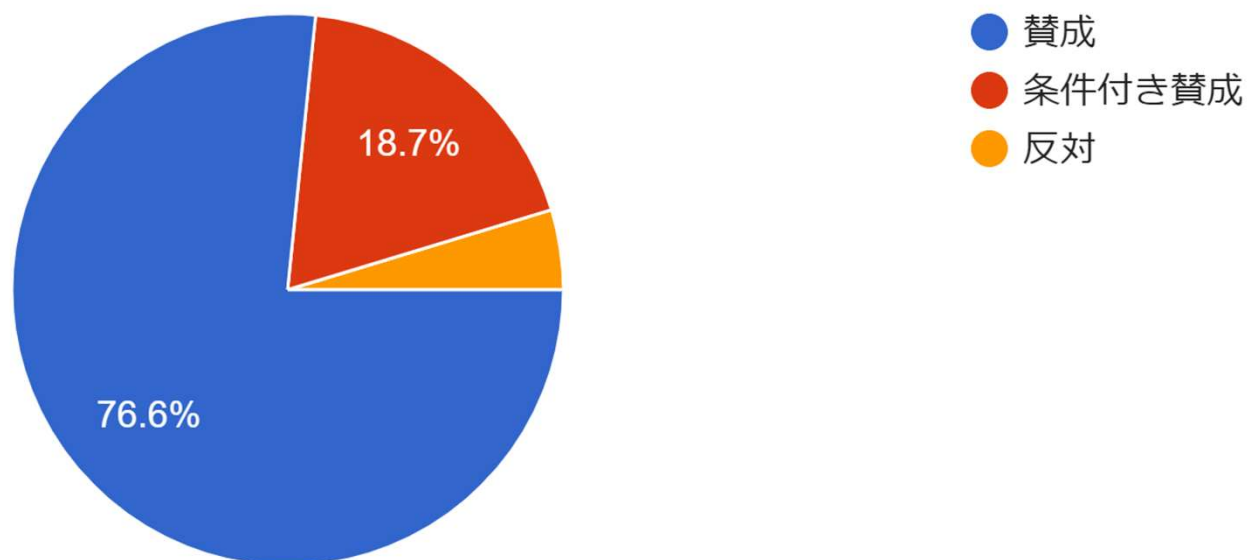
278 件の回答



アンケート結果

6.

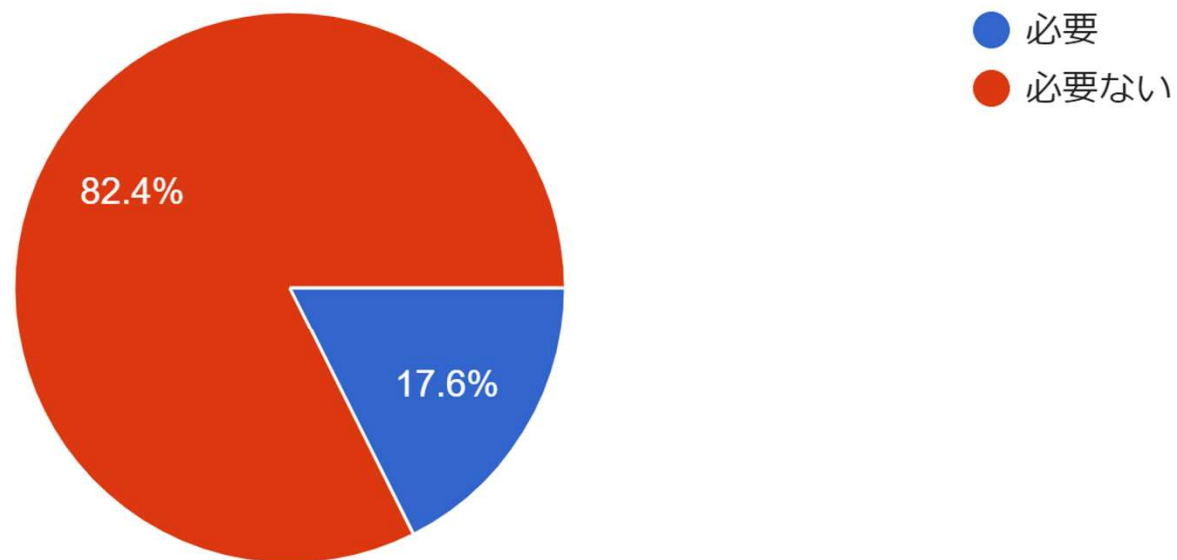
学会誌電子書籍化への賛否についてお聞かせください。電子書籍化とは、ネット上で電子書籍として低温工学を発行する事を想定しています。読者はファイルのダウンロード、印刷なども必要に応じて可能となる仕様を検討中です。



アンケート結果

6-3.

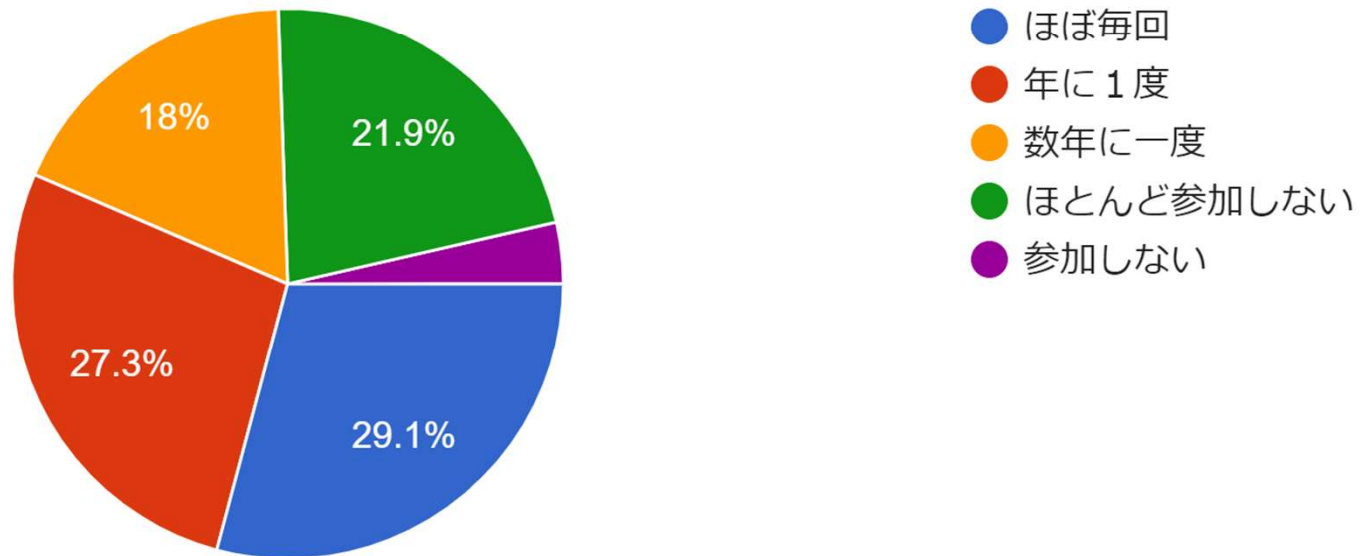
現状の冊子体の郵送については、意義や役割について様々なご意見が聞かれます。電子書籍化された場合に冊子体の郵送が必要と思われるか、不要と思われるかをお聞かせください。



アンケート結果

7. 研究発表会への参加頻度についてお聞かせください

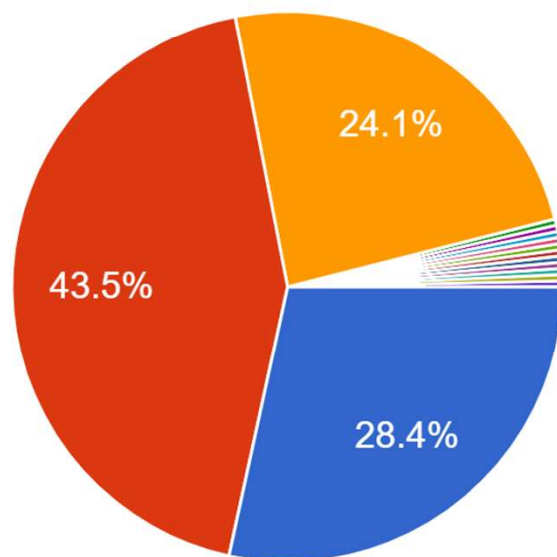
278 件の回答



アンケート結果

8. 研究発表会への参加の目的をお聞かせください。

278 件の回答



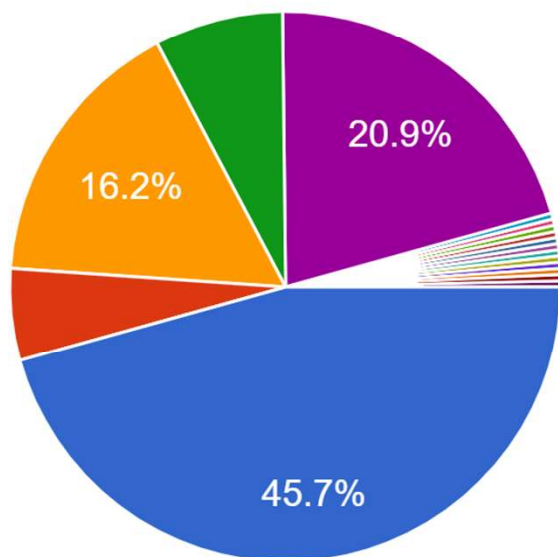
- 研究を発表するため
- 情報収集のため
- 関係者との情報交換のため
- 現在は技術職ではないので
- 参加して、情報収集、意見交換をした...
- 最近はほとんど参加していません
- 共同研究や試作販売を目的としている
- 参加しておりません。

▲ 1/2 ▼

アンケート結果

9. 研究発表会へ期待する新たな企画についてお聞かせください。

278 件の回答



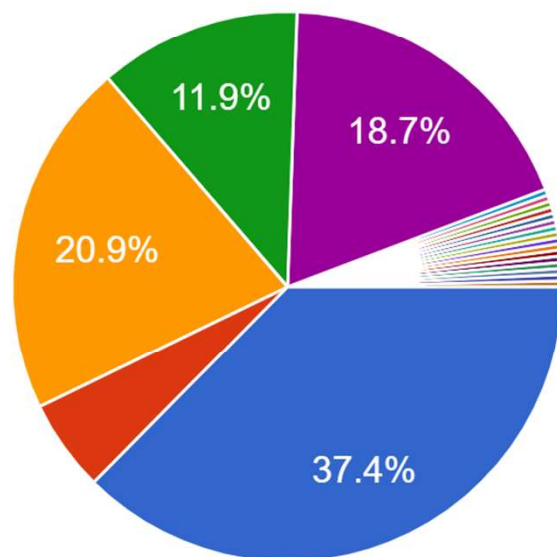
- 関連分野のトピックスや新技術の紹介
- 関連分野以外の科学トピックス
- 現地紹介や見学会ツアー
- 初心者向けの基礎講座
- 現状のままでよい
- 第一線の研究者が、博士課程時代等に...
- 国費による研究は少なくなり、Start u...
- カーボンニュートラルやサーキュラー...

▲ 1/3 ▼

アンケート結果

10. 各種研究会、部会、支部活動へ期待する新たな企画についてお聞かせください。

278 件の回答

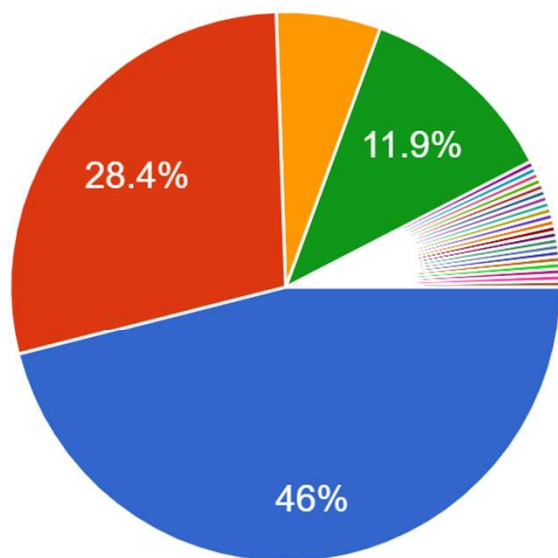


- 関連分野のトピックスや新技術の紹介
- 関連分野以外の科学トピックス
- 現地紹介や見学会ツアー
- 初心者向けの基礎講座
- 現状のままでよい
- 交流会
- 異分野との融合やそれを促進する取り...
- 問9に同じ。

▲ 1/3 ▼

アンケート結果

11. 昨今の印刷費・会場費の高騰、学会財政運営の状況をうけ、研究発表会の参加費の見直しが検討されています。研究発表会の参加を継続するうえで、どの程度の見直しを許容できるかお聞かせください。

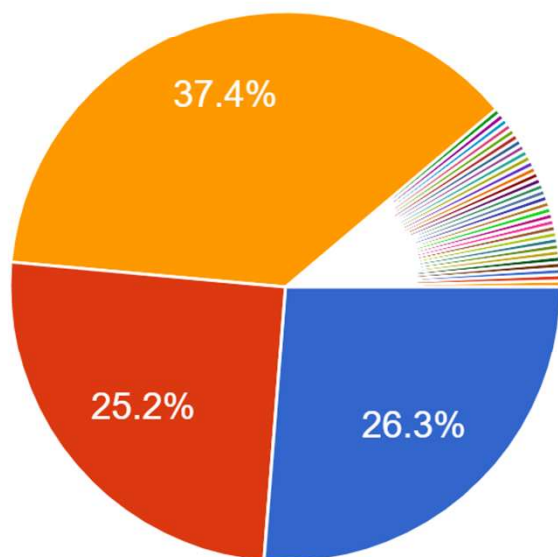


- 2,000円程度の増加（年間約600千円...）
- 5,000円程度の増加（年間約1,500千円...）
- 10,000円程度の増加（年間約3,000千...）
- 値上げには反対
- 電子書籍化をした場合のコストの増減...
- 学生参加費を引き上げないという条件...
- 支出を削減してから、その後に値上げ...
- 個人から支出されるのではなく、その...

▲ 1/4 ▼

アンケート結果

12. 研究発表会は、ハイブリッド開催を開始して3年が経過しました。ハイブリッド開催ではオンラインサービスの運用にコストがかかるため、継続には参加費の見直しも検討する必要があります。このサービスの継続についてご意見をお聞かせください。

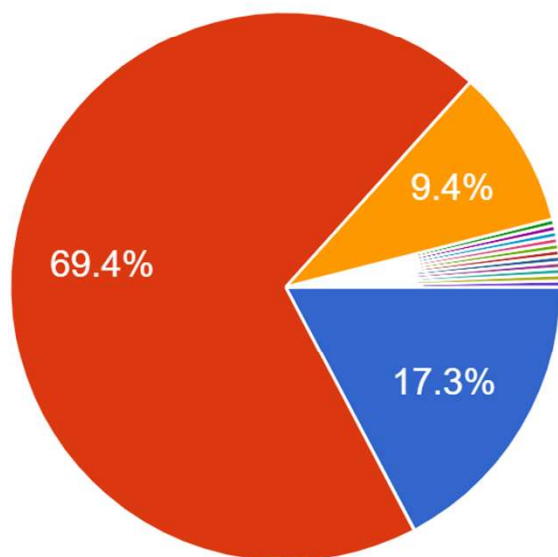


- 参加費（対面、オンライン参加同額） ...
- 対面参加費に付加した料金にてオンラ...
- オンラインサービスを継続する必要は...
- オンラインサービスのコスト増加の詳...
- オンライン参加との併催を基本として...
- オンライン参加費は安くすべきである
- 同等の金額でオンライン継続を希望
- アンケートを取る前に、コスト分析を...

▲ 1/5 ▼

アンケート結果

13. 研究発表会講演概要集について印刷経費削減のため電子化が検討されています。研究発表会の概要集は現在、白黒印刷の冊子に加えカラー電子版（PDF）が提供されるようになりました。PDFならスマートフォンやタブレットで閲覧することも可能です。概要集配布についてご意見をお聞かせください。

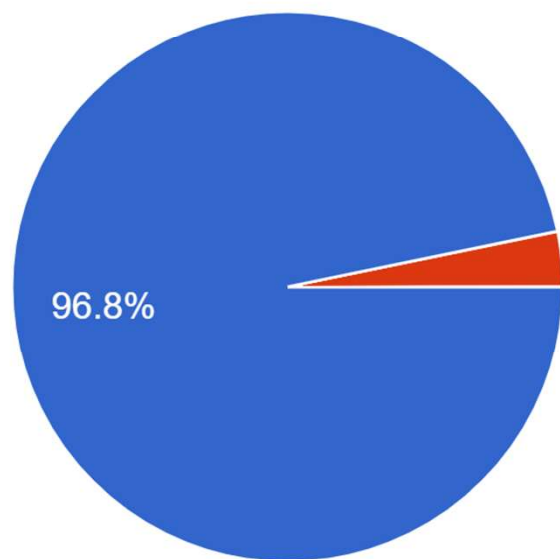


- 冊子（白黒印刷）、カラー電子版（P...
- 冊子（白黒印刷）は必要ない
- 冊子（白黒印刷）のみでよい
- 冊子の注文制
- 冊子は不要
- 参加費を支払った回の概要集が一定時...
- 書き込めることを考えれば冊子の方が...
- 概要集は電子で良いがプログラムや会...

▲ 1/2 ▼

アンケート結果

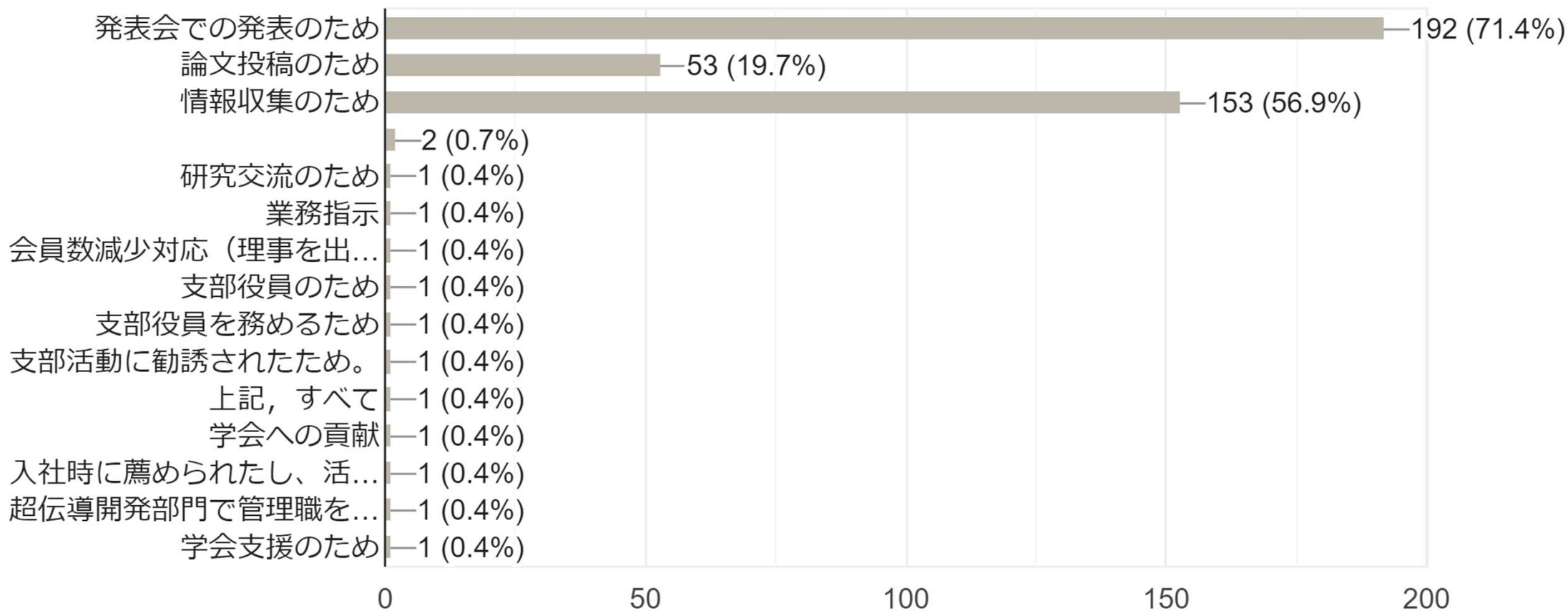
設問14から19は、会員の方のみご回答ください。非会員の方は設問20へのご回答をお願いします。
278 件の回答



- 会員 (設問14へお進みください)
- 非会員 (設問20へお進みください)

14. 加入の動機についてお聞かせください。（複数回答可）

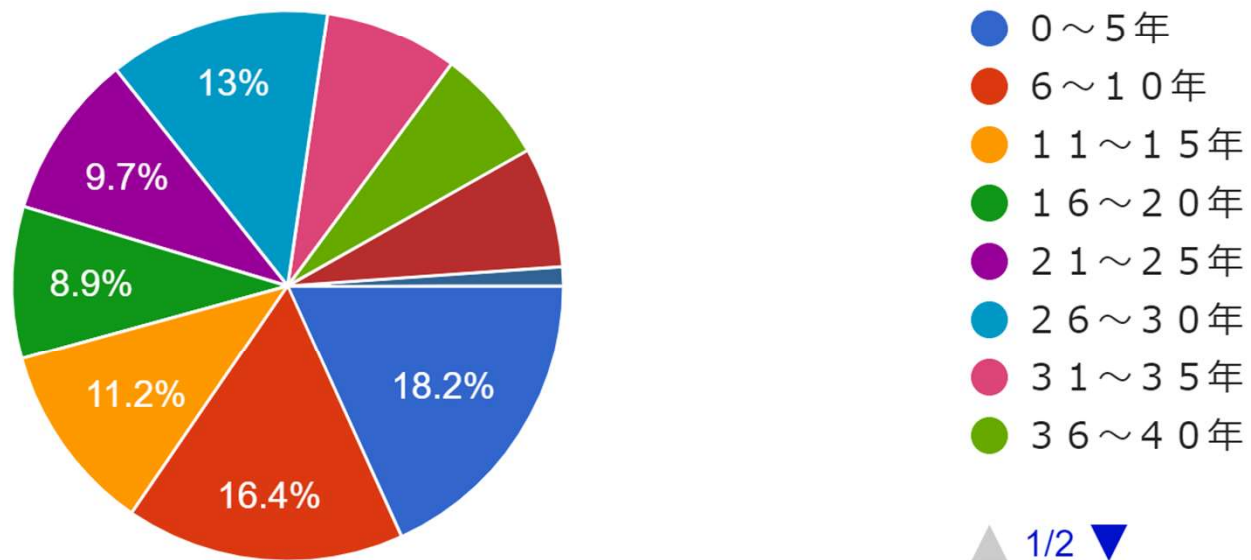
269 件の回答



アンケート結果

15. 加入経過年数についてお聞かせください。

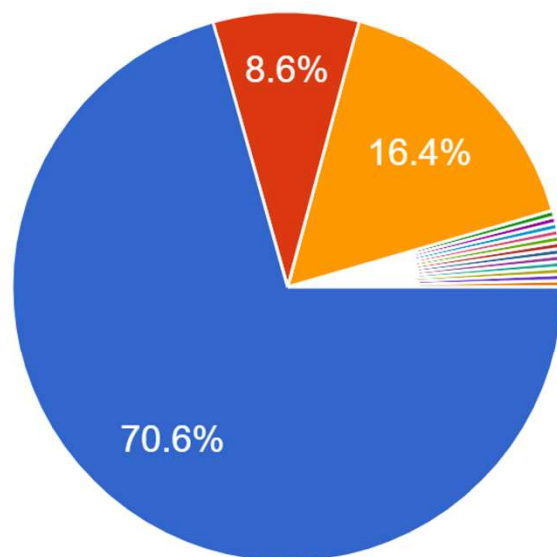
269 件の回答



アンケート結果

16. 加入継続の見通しについてお聞かせください。

269 件の回答



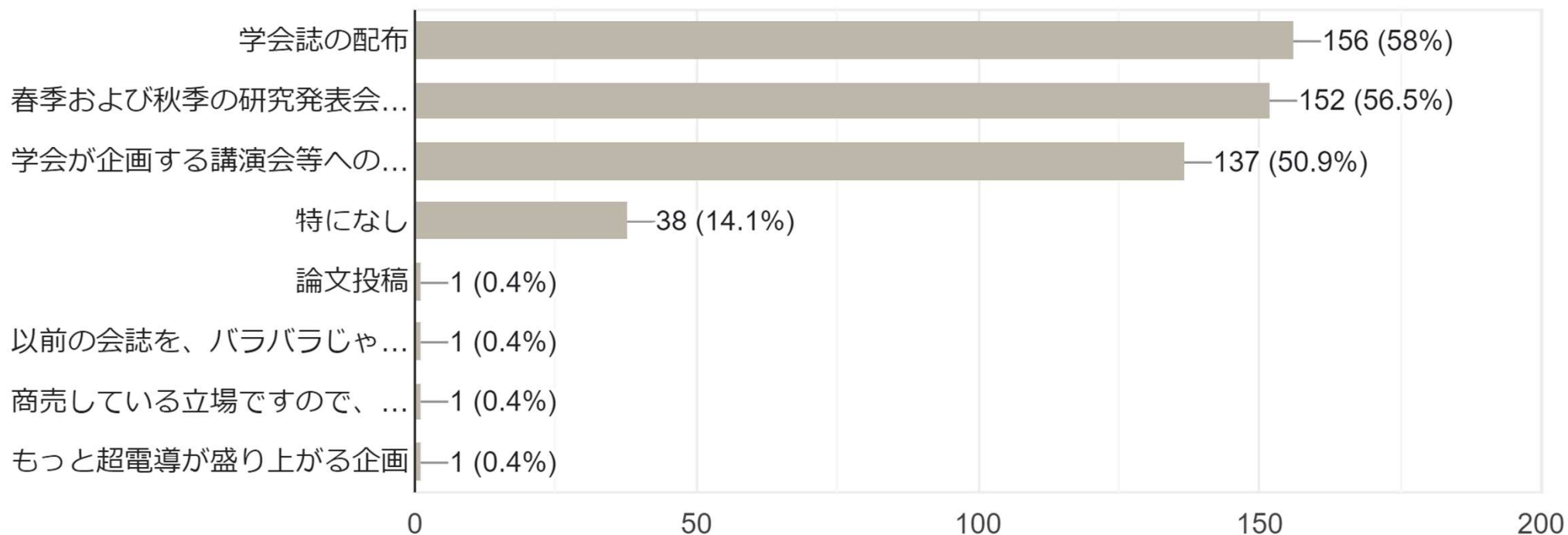
- 現職のうち
- 業務に関係なく継続
- 退職後も継続
- 学会が魅力的である努力を継続するな...
- 明確ではありません。
- 興味がある間は継続する。
- 研究内容が関係する限り加入を継続す...
- 本分野の業務も減少傾向のため、適切...

▲ 1/2 ▼

アンケート結果

17. 現在、期待されている正会員への会員サービスについてお聞かせください。（複数回答可）

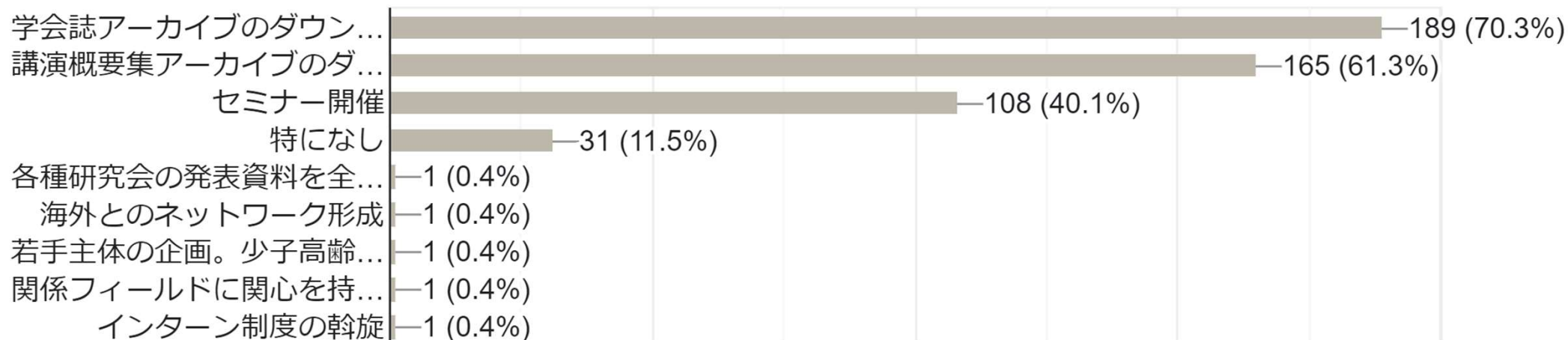
269 件の回答



アンケート結果

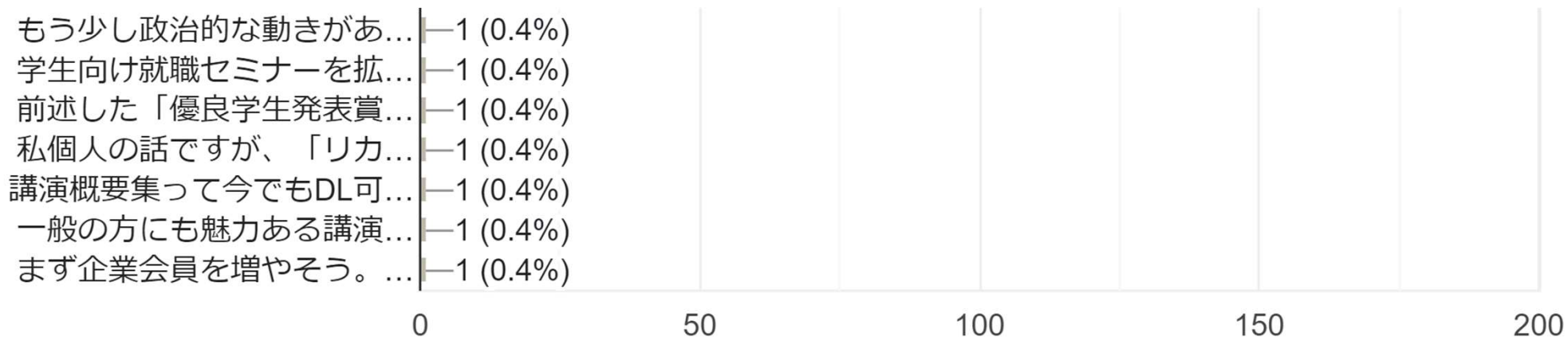
18. 今後、新たに期待する学会活動や会員サービスについてお聞かせください。（複数回答可）

269 件の回答



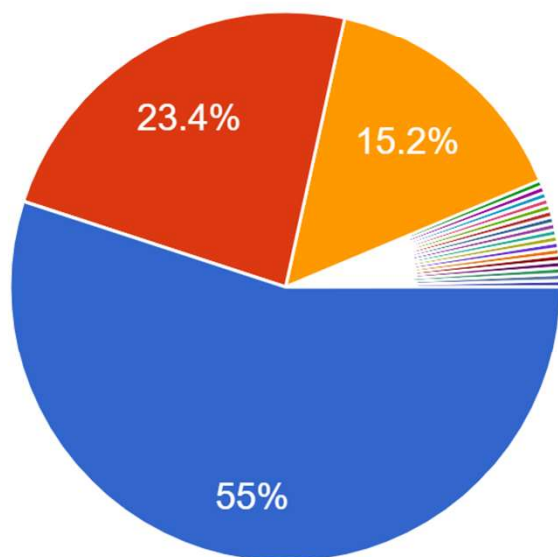
アンケート結果

18. 今後、新たに期待する学会活動や会員サービスについてお聞かせください。（複数回答可）



アンケート結果

19. 低温工学・超電導学会の財政安定化を目的に会費の見直しが検討されていますが、会員を継続するうえで、どの程度の見直しを許容できるかお聞かせください。



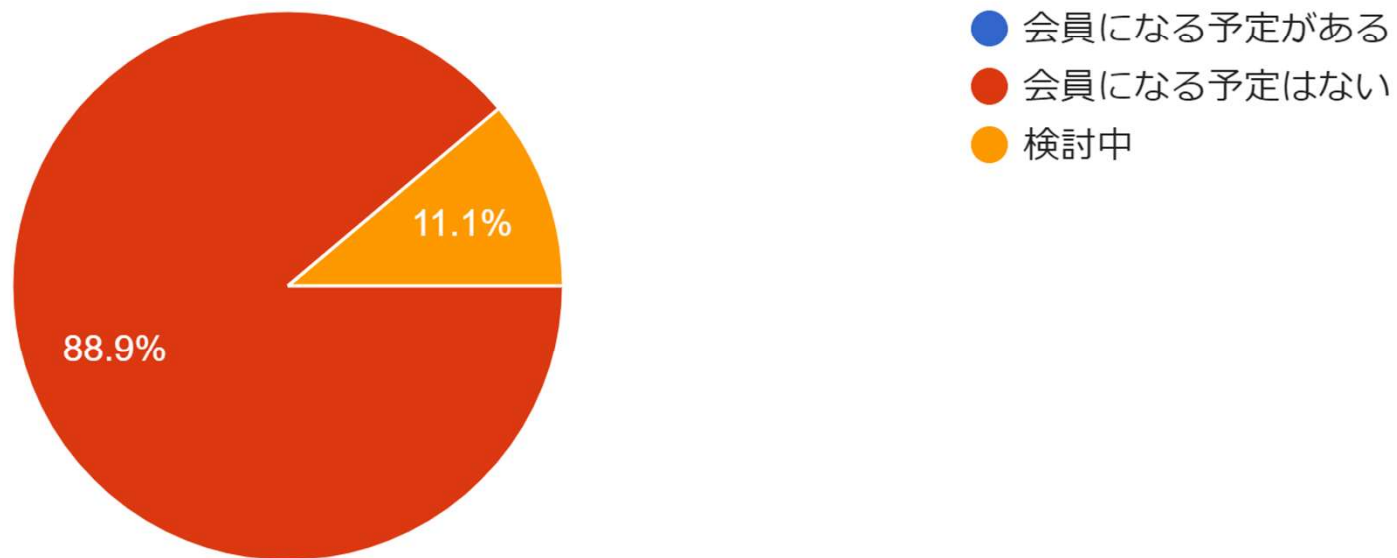
- 正会員費2,000円程度の増加 (正会員...)
- 正会員費4,000円程度の増加 (正会員...)
- 会費の見直しには反対 (設問19-2へ)
- 電子化・学会のオンライン化でコスト...
- 支出を削減してから、値上げを検討す...
- 学会参加費の増加とコスト削減の結果...
- 学生会員が個人で負担していることへ...
- 正会員費4000円程度の増加は賛成、...

▲ 1/3 ▼

アンケート結果

20. 今後の会員になる予定について、その理由も含めてお聞かせください。

9件の回答



アンケートの設問

1. 所属機関の分類をお聞かせください。
2. 年齢についてお聞かせください。
3. 会員種別についてお聞かせください。
4. 学会誌「低温工学」は、論文誌としての役割と、会告や本会記事などを掲載し情報誌としての役割も担っています。あなたにとっての主たる位置付けについてお聞かせください。
5. 学会誌の編成で期待する記事はどれでしょうか。（複数選択可）
6. 学会誌電子書籍化への賛否についてお聞かせください。電子書籍化とは、ネット上で電子書籍として低温工学を発行する事を想定しています。読者はファイルのダウンロード、印刷なども必要に応じて可能となる仕様を検討中です。
 - 6-2. 上記6の設問で「賛成」又は「反対」を選択された方はその理由を、「条件付き賛成」を選択された方は、その条件をお書きください。
 - 6-3. 現状の冊子体の郵送については、意義や役割について様々なご意見が聞かれます。電子書籍化された場合に冊子体の郵送が必要と思われるか、不要と思われるかをお聞かせください。
 - 6-4. 上記6-3の設問で冊子体が「必要」又は「必要ない」を選択された理由をお書きください。

アンケートの設問

7. 研究発表会への参加頻度についてお聞かせください
- 7-2. 設問7で「ほとんど参加しない」、「参加しない」を選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。（記入例：現場に近い業務のため）
8. 研究発表会への参加の目的をお聞かせください。
9. 研究発表会へ期待する新たな企画についてお聞かせください。
10. 各種研究会、部会、支部活動へ期待する新たな企画についてお聞かせください。
11. 昨今の印刷費・会場費の高騰、学会財政運営の状況をうけ、研究発表会の参加費の見直しが検討されています。研究発表会の参加を継続するうえで、どの程度の見直しを許容できるかお聞かせください。
- 11-2. 設問11で「値上げには反対」を選択した方にお伺いします。その理由をお聞かせください。
12. 研究発表会は、ハイブリッド開催を開始して3年が経過しました。ハイブリッド開催ではオンラインサービスの運用にコストがかかるため、継続には参加費の見直しも検討する必要があります。このサービスの継続についてご意見をお聞かせください。
13. 研究発表会講演概要集について印刷経費削減のため電子化が検討されています。研究発表会の概要集は現在、白黒印刷の冊子に加えカラー電子版（PDF）が提供されるようになりました。PDFならスマートフォンやタブレットで閲覧することも可能です。概要集配布についてご意見をお聞かせください。

アンケートの設問

設問14から19は、会員の方のみご回答ください。非会員の方は設問20へのご回答をお願いします。

14. 加入の動機についてお聞かせください。（複数回答可）

15. 加入経過年数についてお聞かせください。

16. 加入継続の見通しについてお聞かせください。

17. 現在、期待されている正会員への会員サービスについてお聞かせください。（複数回答可）

18. 今後、新たに期待する学会活動や会員サービスについてお聞かせください。（複数回答可）

19. 低温工学・超電導学会の財政安定化を目的に会費の見直しが検討されていますが、会員を継続するうえで、どの程度の見直しを許容できるかお聞かせください。

19-2. 設問19で「会費の見直しには反対」を選択された方にお伺いします。その理由をお聞かせください。

20. 今後の会員になる予定について、その理由も含めてお聞かせください。

20-2. 設問20でお答えいただいた理由をお聞かせください。